

製品名: ERAP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84579**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW: 107 kDa ; Observed MW: 100 kDa

抗原情報

遺伝子名	ERAP1
別名	ALAP; Aminopeptidase PILS; APPILS; Arts1; Endoplasmic reticulum aminopeptidase 1; ERAAP; ERAAP1; Erap1; PILSA; PILSAP;;ERAP1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9NZ08
免疫原	ヒト ERAP1 由来の合成ペプチド

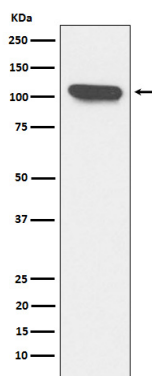
背景

HLA クラス I 結合ペプチドのほとんどを生成するために必要なステップであるペプチドトリミングにおいて中心的な役割を果たすアミノペプチダーゼ。ペプチドトリミングは、長い前駆体ペプチドを MHC クラス I 分子への提示に必要な正しい長さに調整するために不可欠です。9~16 残基長の基質を強く好みます。13-mer を急速に 9-mer に分解し、その後分解を停止します。ロイシン残基および疎水性 C 末端を持つペプチドを優先的に加水分解しますが、荷電 C 末端を持つペプチドに対する活性は弱いです。

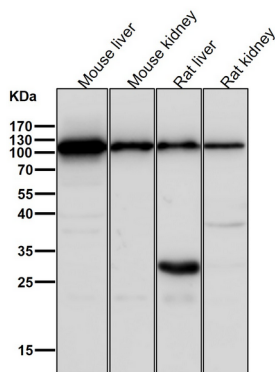
研究分野

-

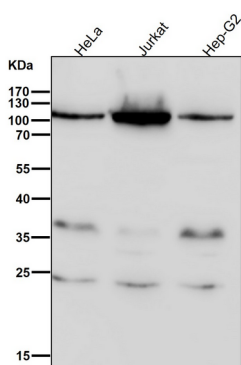
画像データ



K562 細胞溶解物中の ERAP1 発現のウエスタンブロット解析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。